

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局 地域道路課
 担当課長名： 春田 義信

事業名	市道佐保田線 さほた つしましとよたままちこつな		事業区分	地方道	事業主体	長崎県 対馬市
起終点	自：長崎県対馬市豊玉町小綱 つしましとよたままちた 至：長崎県対馬市豊玉町田				延長	2.1 km
事業概要	市道佐保田線は、一般県道唐崎岬線と一般国道382号とを結ぶ路線である。この国道382号は、対馬島を縦断する重要な幹線道路でありかつ緊急輸送道路となっている。市道佐保田線はバス路線でもあり、市道佐保田線沿線の5地区の日常生活に不可欠な路線である。このため交通安全の確保、日常生活や緊急時の連絡路の確保等の観点から緊急に本路線を整備するものである。					
H10年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H10年度用地着手	H10年度工事着手			
全体事業費	22 億円	事業進捗率	77%	供用済延長	1.4km	
計画交通量	1,000 台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 3.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 4.1/25 億円 (事業費：4.0/25億円 維持管理費：0.06/0.21億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 14/41 億円 (走行時間短縮便益：13/39億円 走行費用減少便益：0.60/1.9億円 交通事故減少便益：0/0.25億円)	基準年 平成19年		
感度分析の結果	残事業を対象 交通量変動：B/C=3.0 (交通量-10%) B/C=3.7 (交通量+10%) 事業費変動：B/C=3.0 (事業費+10%) B/C=3.7 (事業費-10%)					
事業の効果等	・地域ネットワークの構築（対馬島中心部へのアクセス向上が見込まれる） ・安全な生活環境の確保（歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される）					
関係する地方公共団体等の意見	市道佐保田線は、通学路でもあり緊急輸送道路として重要な路線であるため、地元地区より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	起終点の整備完了、トンネルの供用開始等により、交通量も増し整備の必要性が増大している。また、本路線は小学校の通学路でもあるが、近年小綱漁港の整備等に伴う保冷車等の大型車が増加しており、児童にも危険が及んでいる状態である。そのため、幹線道路である国道382号までを結ぶ本路線の整備は重要である。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成18年度末までの事業費ベースの進捗率は77%であり、用地面積ベースの進捗率は99%である。残事業については県河川改修工事との合併施工区間である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残区間については、県河川改修工事との合併施工となるが、県が行っている用地交渉の難航により、工事着手に遅れが生じていた。しかし、平成18年度に用地交渉が解決し、先行する河川事業が、平成19年度より着手したことから、本事業についても、早期に整備を進め、平成24年度完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	河川管理者との協議を行い、一部道路線形の見直しを行うなどコスト縮減を行った。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性及び重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						